

目的 衣服原型設計のための基礎的研究として、着衣基体としての体型を分類把握することが必要である。今回は、胴部原型設計を目的とし、若年婦人の上半身のからだつきを典型的に把握することを試みる。

資料および方法 東京および東京近郊に在住する18～23歳の女子短大生303名の身体計測を行なった(1981, '82, '83年のそれぞれ4月計測)。胴部原型に関係のある計測値21項目を用いて20項目の示数(胸囲に対する示数11項目, 上半身の幅径項目の示数7項目, 上半身の丈に関する示数2項目)を計算し, つぎに示数20項目の相関行列に基づく主成分分析を行なった。その結果から, クラスター分析を行ない, 上半身のからだつきの分類を試みた。

結果 示数20項目の主成分分析の結果の解釈は, 主成分軸のバリマックス回転後の因子負荷量から行なった。固有値が1以上を示す主成分は4つあり, 第1主成分は, 胸囲に対する大きさ, すなわち肥瘦を表わすと考えられる因子, 第2主成分は, 肩部から胸部にかけての前後の形態を表わす因子, 第3主成分は, 厚みを表わす因子, 第4主成分は側面のくびれを表わす因子が抽出された。主成分分析の結果より, ケース間の類似関係に基づいてクラスター分析を行なった結果, 上半身の体型を分類することが出来た。